

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2006 秋号

VOL.008



Kasama

観光客が選ぶおすすめショップ

FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！ ほか

笠間再発見！

体験学習館分校でタイムスリップ

笠間昔話

笠間稲荷の菊まつり

秋のイベント情報

美術館情報、匠のまつり ほか

メイド・イン・笠間で行こう！

日本を代表する栗の里・笠間

特別企画・2007年は開催100周年!

笠間稲荷の菊まつり

写真提供/笠間稲荷神社

昔話 笠間

歴史ある菊まつり、始まりは明治41年(1908年)から



明治41年(1908年) という時代

清朝の独裁者、西太后死去/第1回ブラジル移民船「笠戸丸」が791人を乗せサントス湾に出发/味の素の製造開始/シベリアのツングースカに巨大隕石が落下/夏目漱石「三四郎」

毎年11月3日の文化の日に行われる神事流鏝馬(しんじやぶさめ)は、昭和25年に初開催。

笠間稲荷神社の菊まつりの歴史は大変古く、明治23年から境内で行われていました。「あさがお会」が発展し、「菊花愛好会」として発足したのが原点です。当時、各地で開かれていた菊まつりに先がけて催された日本で最も古い菊花会で、明治37年からの日露戦争で荒廃した人々の心を和めていました。信仰を育む一助として、先々代の宮司塙嘉一郎翁が「大地に親しむこと」と「菊花は人の心をなごめる」との思いから、明治41年(1908年)に農園部を設けて、菊花を境内に展示したのが菊まつりの始まりです。また、農園部栽培の菊花のほかに、大正2年からは「第1回笠間稲荷神社全国菊花品評会」が開催され、出品点数300

点、花の品種にして立ち菊や切り花、懸崖菊等268点が境内に並びました。来年には記念すべき100周年を迎える菊まつりですが、今や全国各地から60余万人の参拝者等が開催期間に訪れています。菊花と菊人形の展示が併設となったのは昭和23年からで、開期は8日、入場料は30円でした。翌年の昭和24年には、国内がまだ社会的に混乱している大変な時期に、アメリカ国際菊花展(シアトルで開催)に出品して最優秀賞ブルーリボンを受賞しています。笠間稲荷の見事な菊が遠く海外にその名を知らしめました。以後、菊人形展は、その年にあったテーマが決められ、段返しなど豪華絢爛に企画構成されてきました。境内の各所を彩る菊花は、立菊、懸崖菊、

千輪咲き、盆栽菊など農園部で栽培された優雅な秋の香りを毎年漂わせています。さて、菊まつり期間中の行事の中で見落とせないものとして「神事流鏝馬(しんじやぶさめ)」があります。関東三大流鏝馬と称せられ、毎年11月3日に斎行されています。昭和25年11月3日「文化の日」に初めて笠間で開催されて以来、今年で57回目を迎えます。鎌倉時代の流鏝馬装束に威儀を正した弓馬術礼法宗家、小笠原流一門により笠間小学校前(笠間藩弓馬訓練場跡)の特設会場で斎行されています。射手が馬を走らせながら約20秒間に3本の鏑矢を的に射ちその命中数と的の割れ具合から来年の豊凶を占います。午前は10時40分、午後は2時40分からの2回斎行されます。

秋のイベント情報

笠間で開催される魅力たっぷりのイベント情報を紹介します。



笠間日動美術館

「アンティークドールの夢」

そして絵画の中の人形たち

9/9(土)～11/26(日)

料/大人1,000円、高大生700円、中小生500円

(11月13日の県民の日は観覧料無料)

開/9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休/月曜日 (但し祝日の場合は翌日休館)

関連イベント「アンティークドールを描いてみよう!!」

開催/毎週土曜・日曜

定員/午前、午後それぞれ16名。予約も可。

画材/鉛筆、クレヨン、クレパス(油彩、水彩は不可)

※講師はつきません。

問/tel 0296-72-2160

www.nichido-garo.co.jp/museum

ふるさとラプソディー、県民200名の合唱団によるコンサート等。食・農産物・笠間焼などの地場産業スペースも設営されます。女優の羽田美智子さん等、茨城県出身の芸能人も多く参加。

笠間工芸の丘

「笠間焼フェア企画展」10/4(水)～10/22(日)

「茨城工芸会 笠間工芸の丘展」10/5(木)～11/5(日)

「つばめ窯工房展-廣野敏・高橋協子」10/25(水)～11/5(日)

「川又南岳陶書展」11/8(水)～11/19(日)

「橋口信弘展」11/8(水)～11/19(日)

「東風舎&菅原良子&飯田純子展」11/22(水)～12/10(日)

「酒井芳樹 樹窯と仲間展」11/22(水)～12/10(日)

問/tel 0296-70-1313

www.kasama-craftshills.co.jp

問/茨城県陶芸美術館 tel 0296-70-0011

www.tougei.museum.ibk.ed.jp

緑化祭・かさま元気村

10/22(日) 9:30～15:00

フリーマーケット、生バンド演奏、インテリア

グリーン、緑化相談、ほか子供向けイベントあり。

場/笠間芸術の森公園 南プロムナード

ふるさと友部まつり

10/28(土)～10/29(日)

模擬店、物産展、キャラクターショー、抽選会、パ

ラエティショー、歌謡ショー、花の展覧会等。

場/友部中学校

問/笠間市商工課 tel 0296-77-1101

匠のまつり/

いばらきストーンフェスティバル

11/2(木)～11/5(日)

笠間焼・農産物・稲田御影石の展示及び販売です。

様々なイベントが開催されます。

場/笠間芸術の森公園

問/社) 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama

骨董我楽多市(こつとうがらくたいち)

11/2(木)～11/5(日)

場/笠間稲荷神社前笹目酒造裏駐車場

問/社) 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama

六所神社大祭

11/3(金・祝)～11/5(日) 場/六所神社(岩間)

問/社) 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama

大地の宴 かさま秋市

11/3(金・祝)～11/4(土) 地元野菜の販売等。

場/大町駐車場

問/大地の宴プロジェクト実行委員会 tel 0296-72-0284

神事流鏑馬(しんじやぶさめ)

11/3(金) 10:40～、14:40～

笠間小学校前(笠間藩弓馬訓練場跡)の全長

260mの特設馬場で、射手が馬を走らせながら3

本の鏑矢を射ち、その命中数と的の割れ方で来

年の豊作を占います。

場/笠間小学校前特設馬場

問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001

www.kasama.or.jp/

大好きいばらきネットワーク活動推進大会

11/18(土) 12:30～16:00

場/笠間公民館 大ホール

12:30～ まちづくり劇団「表現座」公演

13:15～ 搦草一氏による講演「食による人にや

さしい・健康なまちづくり」ほか

問/笠間市市民活動課 tel 0296-77-1011(代)

笠間観光フォトコンテスト作品締切

締切/11/30(木)当日消印有効

場所/撮影場所は笠間市内に限る

(但し平成18年1月1日以降に撮影したもの)

テーマ/観光・人・風景・四季・行事・風物・物産など

規格/キャビネサイズ又は2Lサイズ

問/社) 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.intio.or.jp/kasama

ARTCOCKTAIL 2006 IN 笠間

(街なか 現代美術展)

9/30(土)～11/4(土) 11:00～18:00

絵画と彫刻、写真や映像等の現代美術作品が笠間

の街に並びます。笠間の風景を楽しみながら、オ

リエンテリング気分作品を鑑賞してみてください。

料/入場無料 休/月・火・水曜日(10/9は開場)

場/大谷石倉庫、光照寺駐車場、佐白山公園、

旧笠間市美術館、笹目酒造、武藤酒造、笠間稲

荷神社、奥田製陶所、さくらガス、セーフティ

ショップおおしま、笠間日動カーミュージアム、

神具店ときわ、他

問/090-9005-0531(吉岡)、03-3553-0150(池谷)

www.artcocktail.org/

ワークショップ「生きてみたい」～オブジェを作ろう～

10/7(土) 13:00～16:00(雨天決行)

場/佐白山公園の巨木周辺

料/500円(保険加入料込み)

ワークショップ「染めよう作ろう、マージの巨木」

10/7(土) 9:00～15:00

場/佐白山公園 料/500円(保険加入料込み)

トークショー「作品が選ぶ場所」

10/8(日) 13:00～ 場/大谷石倉庫 料/無料

出演者/山本雅美(東京都現代美術館学芸員)

オープニングパーティー

10/8(日) 15:00～ 場/大谷石倉庫 料/1,000円

ボランティア募集

9/30～11/4の会期中。作品保安の為の巡回等、美

術に興味のある方なら誰でも結構です。

茨城県陶芸美術館

「生誕120年 富本憲吉展」

9/30(土)～12/3(日)

料/一般700円、高大生500円、小中生250円

開/9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休/月曜日(祝日の場合は翌日休館。11/13は開館)

問/tel 0296-70-0011

www.tougei.museum.ibk.ed.jp



おーいニッポン 私の好きな茨城県

10/1(日) NHK BS 生放送6時間(笠間放映は17:30以降)

場/笠間芸術の森公園 野外ステージ

※15:00頃からリハーサル等を開始します。

匠工房・笠間フェア

10/7(土)～10/9(月)

場/茨城県窯業指導所 問/tel 0296-72-0316

www.kougise.pref.ibaraki.jp/yougyou

笠間焼フェア

10/7(土)～10/9(月) 10:00～17:00

笠間焼作家による新作展。

場/笠間工芸の丘 特設会場

問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

www.kasamayaki.or.jp

いなだストーンエキシビジョン

10/7(土)～10/9(月・祝)

笠間市稲田で採掘される「みかけ石」を使って、日

本を代表するグラフィックデザイナーがオブジェを

デザインし、稲田の石屋さんが彫刻する展覧会です。

場/中野組石材

問/稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049

www.ibarakiken.or.jp/inada/

第99回 笠間稲荷神社の菊まつり

「菊人形展・功名が辻」

10/14(土)～11/23(木・祝)

笠間稲荷の菊まつりは日本で最も古い菊の祭典で、

明治41年(1908年)に第1回が開催され、今年

で99回を迎えます。境内各所には立ち菊、懸崖菊、

千輪咲き、盆栽菊など約五千鉢の菊花が展示され、

ご参拝の方々をお迎えます。

「大菊花展」開門(6:00)～閉門まで

場/笠間稲荷神社境内

「菊人形展」8:30～16:30 (入場4時まで)

場/笠間稲荷神社特設会場

料/高校生以上700円、小中学生は無料

問/tel 0296-73-0001 www.kasama.or.jp

秋季大祭

10/15(日) 場/常陸国出雲大社

問/tel 0296-74-3000 www.izumotaisha.or.jp/

La Festa Mille Miglia 2006

10/17(火) 午前7時20分頃、笠間稲荷神社前がチェックポイント。

1919年～1967年までに製造されたクルマだけが

参加できるクラシックカーのラリーレース。

元気さんさんフェスタ2006

10/22(日) 10:00～17:00

ロクロ実演、ペンダントペイントコーナー、皿

絵付け体験コーナー、駄菓子・玩具販売、移動

水族館。

場/笠間芸術の森公園 三館広場

▲笠間PR協力店募集▼

「笠間ファン倶楽部通信」をはじめ、笠間のパンフレット、リーフレット等を置いてくれるお店を募集しています！

※どちらの募集も笠間市商工課まで(電話0296-77-1101)

▲企画・アイデア・ボランティア募集▼「笠間を応援するためにこんなことをしたい」「こんなことをやってほしい」など皆さんの声を募集します。また、イベントボランティアも同時募集！

VOL.08
笠間再発見!



今年5月に開催された、ほりたかごさんによる“ふくらむたまご展”。

体験学習館分校でタイムスリップ



昔のままの姿をした分校。



6代目管理人の須知さんご夫妻。



アーティストックな光景です。



アクセスマップ

岩間地区上郷地内の田園風景に囲まれたのどかな所に、岩間第一分校があります。1983年に廃校になってしまい、当初取り壊されることになっていましたが、地元青年会や当時分校に関わっていた人々の働きかけで、何とか残ることになり、武蔵野美術大学の彫刻科を卒業した坂本浩人さんが、初代管理人として住む事になりました。現在の須知さんご夫妻は6代目となります。

市町村合併にともない、名称も「体験学習館分校」となり、武蔵野美術大学の学生らによる子供たち対象の図工教室「アトリエちびくろ」をはじめとした教育活動、ワークショップやシンポジウム、作品発表やイベントなど、さまざまな形で使われて、多くの人たちの交流の場となっています。分校の様子を感じてもらうために、今年5月に「ふくらむたまご展」を開催した作家のほりたかごさんの作品と手記を紹介します。まるで数十年前にタイムスリップしたかのような、昔のままの姿を残した小学校は、疲れた大人達にも、必ずや心の癒しを与えてくれることでしょう。ぜひ一度訪れてみて、あなた自身で感じてみてください。

実際に展示会をやってみて、準備の段階からたくさんの方のお世話になりました。近所の方に、作品に使う竹を頂いたり（タケノコまで頂いてしまいました）、その竹を切るのや、運ぶのを、分校の前管理人さんと、分校を利用している学生の皆さんに手伝っていただきました。また、無謀な私の竹の割り方を見かねて近所の方に割り方を教えていただいたりもしました。会期中は、たくさんの方に見に来ていただきました（芳名帳で数えたら、101人の方が見てくれました）。この教室に入るのは子供の時以来だわ、と懐かしがっておられる方、木造の校舎や、分校自体に惹かれてこられる方もいらっしゃいました。また、笠間で

ものづくりをしている方が、とても多いことを知りました。それぞれの方のスタンスは違えど、お互いに良い関係でつながっている様子がうかがえました。毎日のように近所の子が遊びにきたり、散歩に来られる方がいたり、分校が地域の方に守られている場所なんだということも感じました。そして、まだまだ色々な可能性のある場所なんだということを強く感じました。分校に遊びにきていた近所の子供が、「次はなにやるの?」と私に聞いてきました。「次は劇だよ〜」って、そんな期待に答えてあげられる場所であってほしいと願っています。そして、何かまた私にできることがあれば、積極的に関わっていきたいです。

ほりたかごさんの手紙「分校での展示に至った経緯と、展覧会後の感想」から抜粋



6月17日には地元のまちづくり劇団、表現座（代表・藤本隆幸さん）による公演「もうひとつの世界」も行われ、大好評でした。



作家のほりたかごさん。



教室内の“ふくらむたまご展”のようす。

体験学習館分校（旧岩間第一分校）
笠間市上郷1742-1 tel 0299-45-5930

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！

笠間には人知れず、こだわって、いいものを作っている人たちがたくさんいます。そんな人たちに応援の意味を込めて、このコーナーを始めました。これを読んで気に入ってくれたなら、ぜひ自分の足で訪ねてみてください。きっと素晴らしい出会いが、あなたを待っていることでしょう。

その6

日本を代表する栗の里・笠間



A
陶芸家・石彫家
藤本均定さん

陶芸家・石彫家の藤本均定さんは、焼き栗のための器を作っています。石焼き芋の要領で中に石をいれて、そのまま火にかけられる耐熱食器です。現在試作中ですが完成間近とのこと。栗といっしょにぜひお土産にどうぞ！

左側の小さい方が焼き栗用の器。右側は栗ごはんなどを作るためのミニ土鍋。いずれも耐熱食器なので、直接火にかけられて、そのまま食器として使えるスグレもの。熱膨張しないベタライトという成分が配合されています。



焼き栗の器

栗ごはんの器



B
笠間市岩間商工会
中村健二さん

笠間市岩間商工会（写真は事務局長の中村健二さん）では、栗をベースにした「栗焼酎」を昨年から販売しました。結果は1,400本を作ってすぐに売り切れ。今年は本数が増えたので何とか手に入りそうです。秋に発売予定。



C
小田喜商店
小田喜保彦さん

小田喜商店は生栗、甘露煮、渋皮煮、ペーストなどを扱う栗専門店。必見は同社のホームページ（<http://www.kurihiko.com>）。栗に関するのなら最強だと思う。今回の取材では色々とお世話になり、ありがとうございました！



D
グリユイエール
根本健一さん

地元の食材を使った洋風笠間菓子がメインの「グリユイエール」は、笠間駅前の人気店です。「日本一を認識してパワーアップした商品を作りたい」と代表の根本健一さん。この前向きさがおいしいお菓子を誕生させるパワーの源です！



栗加工品

栗甘露煮と衣栗かぶと煮は各1,260円(280g)。ほかに予約販売の栗菓子も美味です。問/0299-45-2638 (小田喜商店)

C



栗焼酎

※写真は昨年のもので、今年の商品はデザインが異なります。



E
栗の家
小澤辰巳さん

国道355号バイパス沿い、古民家をリノベーションした栗の家(土、日、祝日のみ営業)。「日本の伝統をいかに伝承していくかを考えています」と、店主の小澤辰巳さん。第3、第5日曜日には全国から目利きが集まる骨董市も開催中。

720mlで1,365円。ほのかな甘みのくせの無い焼酎です。昨年比去年比べて熟成時間を増やしたので、よりまろやかに！問/0299-45-5711 (笠間市岩間商工会)



栗のお菓子



栗のお菓子

←栗を使ったお菓子の豊富なラインナップ。メープルケーキに栗を乗せて焼いた九ちゃん坂(200円)や最中の皮にチョコレート＆栗が入ったかさ栗ひろい(160円)が人気。笠間焼の器に入ったマロンケーキの笠間萩の姫物語(1,260円)はおみやげにいいかも。ほかに笠間の栗を丸ごと使ったマロンパイや、モンブランがオススメ！問/0296-72-6557 (グリユイエール)

↑栗好きならこのモンブラン(セットは840円、単品は420円)は、ぜひ食べてみて！自分のところで採れた新鮮な栗を使い、ていねいに調理した逸品です。また、お土産用としては栗むし羊かん(1,575円)も人気です。古民家をリノベーションしたお店は、ゆっくりするだけで豊かな気持ちになれるから不思議ですね。問/0299-45-5124 (栗の家)

観光協会が移転しました。

「新事務所は旧笠間市役所内です。よろしくお祈りします」

社団法人 笠間観光協会 会長 増淵浩二

- 新住所/笠間市石井717 (笠間市役所笠間支所内)
- 電話/0296-72-9222 (変更なし)
- FAX/0296-72-9211 (変更なし)
- mail/kasama@intio.or.jp (変更なし)



笠間二丁目

笠間、友部、岩間、各地区の観光協会は行政の合併と共に、今年3月合併し、新たに社団法人笠間観光協会として発足しております。観光は地域特性を生かし、地域に根づいた地域総合産業として、歴史、伝統、文化、自然、環境、教育、農工商と、多岐にわたり範囲が広く重点的な取組みに難しさが有ります。理念のある構想と戦略性が不可欠です。地域の合意形成が大切であります。今や国も地方も観光振興は、重要な産業として位置づけをしております。一地域一観光を推進、自信と誇りの持てる地域づくりの為、地域間競争が激化しております。観光地として、全国各地域が名乗りをあげている中、観光地としての生き残りは容易な事ではありません。観光の本質を良く理解し、笠間で育まれた、豊富な資源を活用し、笠間に来なければ体感できない共感や感動がなければ、お客様に満足は頂けません。観光地としての仕組みづくりや、意識づ

くりが急務であります。インフォメーション機能や、景観整備と回遊策、来訪者と市民ネットワークづくり、地産地消による地域循環型経済の構築と、課題は山積みしております。官民一体の取組みでなければなりません。一方笠間の観光は、県下トップクラスの観光地とも言われておりますが、これを関東トップクラスにしていかなければ、観光地として生き残りも飛躍もないものと思っております。一過性のイベントに頼らなくても、四季折々の笠間をお楽しみ頂ける、通年型観光地として受入体制の整備をして、三地域の豊富な観光資源で更なるパワーアップで地域の活性化を図り、笠間ならではの観光地づくりに、協会が一丸となり、邁進して参ります。なお協会事務所は旧笠間市役所へ移転いたしました。お立ち寄り頂きまして、ご鞭撻頂きたく存じます。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



笠間 ファンファン インタビュー

ふるさと案内人/菅谷 勲(すがやいさお)さん

昭和19年、笠間生まれの62才。仕事の関係で20代は東京で暮らす。帰郷後はずっと笠間で生活。定年退職後、現在はシルバー人材センターで働きながら奥さんと二人暮らし。趣味は将棋、読書(歴史関係)、御神輿。

重要文化財などの歴史的施設を昼食付きの1日ツアーに

- 仕事が定年になり時間に余裕ができた時に「ふるさと案内人」の話がありました。生まれ育った笠間が大好きなので入らせてもらいました。
- 子供の頃よく遊んだ佐白山、石倉はいい所です。もっと整備をしたら行きやすくなると思います。
- 笠間はつつじ、菊、初詣の時期だけでなく、重要文化財の仏像などがたくさんあります。例えば、岩谷寺、楞嚴寺、石寺、弥勒堂、西念寺などをルートにして、昼食付きの1日ツアーを企画し、通年で何度でも来てもらえるようにしたいです。

FAN FAN KASAMA

笠間好き集まれ! ~ファン! ファン! カサマ

- 「道の市」は笠間らしさが出てるので、市内あちこちで開催しても楽しいのでは?
- 先日岩間駅から愛宕山までのハイキングコースを案内しました。3市町の合併を機に佐白山から北山公園までのハイキングコースが出来るといいですね。また、道中の農家が庭先販売をして、まとめて駅まで届けてあげたら、都会から来る人は喜んでくれると思います。
- 地元の人から心からおもてなしをする気持ちを持って対応する事が大切。そのことがいい観光地につながってゆくと思います。

パワフルなワクワク男・見参?! 表現で街をつくらうよ!

- 表現座/「神がかりな舞台でした」。藤本氏が代表を務めるこの劇団は7月に体験学習館分校で初公演。全員初心者、手づくりの舞台、音響、美術。不安に反して素晴らしい舞台になりました。同劇団のコンセプトは「笑顔」「自主性」「あいさつ」。表現をとおして世代を越えたかかわりあいと笑顔あふれる街を目指して活動しています。楽しく表現を身につけていきますので、ど

- なたでも参加できます。
- アーティストいばらき/我こそはアーティストと思った瞬間から参加OK。芸術、音楽、踊りなど、さまざまな特技を持った市民達の交流組織です。各地イベントや慰問への紹介など地域と文化の融合事業を展開中です。「アーティスト同士がジャンルを越えて交流しているのが特徴的で今後も楽しみ」とのことでした。
- 両グループともメンバー募集中です!

声 ファンファン ボイス

~会員の皆様の声、いただきました~

- 彼女が陶芸を習っている影響で3、4年ほど前から陶炎祭や匠のまつりに足を運んでいます。笠間は芸術の森公園など緑が多く、癒されるステキな街です。(茨城県・男性)
- 10年ほど前、関西からこちらへ来てまず免許をとりました。初めての遠出が菊の頃の笠間でした。若菜マークで駐車場へ車を停めるのは至難の業。見かねた駐車場の方が運転を代わってくださいました。それ以来、笠間のファンです。(千葉県・女性)

- 巡礼で訪れた寺での最中と茶のもてなし、美術館、陶芸まつり、稲荷神社…笠間の思い出がたくさんあります。もっと多く訪れたいと思っています。(栃木県・男性)
- 06夏号の発行日が6月13日となっているのに、届いたのが7月8日でした。掲載の「夏のイベント情報」が受け取った時点で半分以上も終わっていました。ファン倶楽部の一員として少しでも協力出来ることはないかと考え、仲間に入れていただいた次第です。このままでは困ると思い、敢えて一筆させていただきました。(茨城県・男性)
- 笠間の自然にあふれるたまたまいを懐かしく思い出します。(東京都・女性)

※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

人 ファンファン ピープル

090-3007-6929 (藤本)
http://id2.fm-p.jp/23/fuzymo



ワクワク男/藤本 隆幸(ふじもとたかゆき)さん

現在35才。茨城県商工会連合会勤務。旧岩間町出身。アーティストいばらき事務局、表現座代表。その他ジャズオーケストラ及び劇団に所属し、演奏活動、街づくりソング作詞、福祉施設訪問など多彩な活動を行っている。

観光客が選ぶおすすめショップ

観光客に聞いたおすすめショップを紹介します。食べ物屋さんに器屋さん…今回はどんなお店が紹介されているか楽しみです。気になるお店を見つけたらぜひ足を運んでみてくださいね!



食と住のバリアフリーを目指して



モン・ラバン

住/笠間市笠間1150
電/0296-73-0020
休/火曜日、第一月曜日
営/昼11:30~14:30、夜17:30~20:30
http://www9.plala.or.jp/monlapin/



出雲大社のガラスギャラリー



ペアガラスギャラリー

住/笠間市福原2001-3
電/0296-74-2948
営/10:00~17:00 休/水曜日
http://www.izumotaisha.or.jp/



韓国食品・手作りキムチの店



キムチ工房・かわさき

住/笠間市福島617
電/0299-45-4452
営/9:00~19:00 (日曜は13:00~19:00)
休/月曜日



北山公園の中にあるそば処



手打ちそば・パラダイス

住/笠間市平町1416-1(北山公園)
電/0296-77-0393
営/11:00~20:30
休/月曜日



北山公園の緑の中にある、味が自慢のそば処です。店内は木の香りの落ち着いたログハウスで、そば粉は国産の北海道産を使用。このお店の名物は店主自ら福島県田島地方の山で採ってきた天然きのこを使用した天然きのこそば(840円)です。各種おそばの他にも、お好み焼きや鉄板焼きも楽しめます。隣接して、50名を収容できる宴会場もあります。



笠間を首都圏へ発信

文・坂本好伸 (森ビル株式会社 常務取締役/株式会社 宍戸国際ゴルフ倶楽部 代表取締役社長)



宍戸ヒルズカントリークラブは、市町合併前の笠間市、友部町、岩間町の境、吾国愛宕県立自然公園からつながる緩やかな南斜面に位置し、豊かな自然林に囲まれた茨城県屈指のゴルフ場である。32年の歴史を持つこのゴルフ場を森ビル株式会社が縁あってお引き受けすることになって4年。日本3大メジャートーナメントの一つ「日本ゴルフツアー選手権」を4年連続で開催するなど、地元の皆様のご協力をいただきながら短期間のうちに一度沈んだゴルフ場が確実に息を吹き返した。茨城に宍戸あり、特にツアープロからは「あの宍戸ヒルズでプレーをしたい」「あの宍戸ヒルズで勝ち

たい」と言われるほどになった。

トーナメントでは、地元の方に愛されるゴルフ場にしたい。そして、市町合併に伴い、市民の皆様の交流の場になってほしいという願いから、関係の皆様とご相談し、「グリーンフェスタかさま」を笠間観光協会様主催で、7月1日(土)の日本ゴルフツアー選手権3日目のプレー終了後に宍戸ヒルズのイベント広場で開催した。約2千人が参加し、友部小学校のマーチングバンド演奏や伝統芸能、笠間焼体験、チャリティーオークションなどで盛り上がり、「地域共生・まちおこし」に少しでもお手伝いできたと思っている。



大勢の人で盛り上がった「グリーンフェスタかさま」。

最近、地元の方と触れ合う機会が多くなり、私なりに笠間の良さがだんだんと分かってきた。ゴルフ場の地主さんへお伺いし

た際、よく地元の梨、巨峰、柿、栗等をいただく。その美味しいこと、東京で長く生活してきた私にとっては、自然の恵みを一杯に受けたこの新鮮な果物が東京からわずか100キロのところで採れるということが驚きだった。さらに、気候が大変良く(災害がほとんどない)、歴史の古い笠間焼があり、笠間稲荷神社、日動美術館などの観光名所があり、そして美しい山並みと田園風景がある。首都圏から近く、岩間インター、友部インター、友部駅等、アクセスが抜群に良い。しかし、これだけ魅力的な笠間であるが、情報発信が不足しているのか、豊か過ぎてのんびりしているのか、観光のまち「笠間」の知名度は首都圏では今一つである。宍戸ヒルズカントリークラブのお客様の7割は首都圏からお越しになる。現在、わたくしどもは「六本木ヒルズからのバスツアー」、「姉妹コース・静ヒルズカントリークラブのホテル滞在の観光スポットツアー」等々PRを行っているが、今後さらに、笠間の良さをよく知り、素晴らしい「笠間」をより多くの人に体験していただけるよう、新しい企画、情報を首都圏へ向けて発信していきたい。

笠間ファン倶楽部 会員募集中

とにかく、笠間と関わりを持ちたい人を募集致します。笠間市民の方も加入できます。

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多く笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたくと思っています。なお、会費は無料ですので、是非皆さんお申し込み下さい。

- 1 笠間を好きな人。
- 2 笠間を応援したい人。
- 3 笠間をふるさとにしたい人。
- 4 笠間人(かさまひと)と交流したい人。
- 5 笠間の歴史、人、自然を知りたい人。

【会員特典】

レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回)ほか多数!

お申し込みは、住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込み下さい。

笠間出身者及びゆかりのある人募集

あなたの近くにいる笠間出身者やゆかりのある人を教えてください。ファン倶楽部の活動に役立てていきたいと考えています。また、笠間でいうイベントなどに積極的に裏方として参加してくれる人も募集中です。

全てのお申し込みは

笠間市産業経済部商工課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-78-5130
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から

上野→(JR常磐線・特急65分)→友部→(JR水戸線10分または無料周遊バス20分)→笠間

上野→(JR常磐線)→岩間→(JR常磐線6分)→友部→笠間

東北方面から

郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線60分)→笠間

→(JR水戸線10分)→友部→(JR常磐線6分)→岩間

高速バスからのアクセス

東京方面から(1日4往復)

東京駅八重洲南口→(常磐自動車道90分)→岩間→(R355)→友部→(R355)→笠間

車からのアクセス

東京方面から

三郷JCT→(常磐自動車道40分)→岩間IC→友部JCT

→(北関東自動車道)→友部IC→(R355)→笠間

友部方面から

友部IC→(R355)→笠間

岩間方面から

岩間IC→(R355)→笠間

小山方面から

小山IC→(JR水戸線)→笠間

大宮方面から

大宮IC→(JR常磐線)→笠間

上野方面から

上野IC→(JR常磐線)→笠間

秋葉原方面から

秋葉原IC→(JR常磐線)→笠間

東京方面から

東京IC→(JR常磐線)→笠間

至川口方面

至川口IC→(常磐自動車道)→笠間

至成田方面

至成田IC→(常磐自動車道)→笠間

至三郷方面

至三郷IC→(常磐自動車道)→笠間

至水戸方面

至水戸IC→(常磐自動車道)→笠間

至いわき方面

至いわきIC→(常磐自動車道)→笠間

至つくば方面

至つくばIC→(常磐自動車道)→笠間

至大宮方面

至大宮IC→(常磐自動車道)→笠間

